

平成27年度

平成27年第1回町議会定例会で、平成27年度の予算が可決されました。今年度の予算の概要をお知らせします。



3月2日八千代町まち・ひと・しごと創生本部を設立

一般会計 歳入

町の自主財源は44・7%
町税収入は微増の約24億円

一般会計の歳入は、前年度と比較して6億6千700万円（対前年度比8・2%減）の減少となっております。景気の緩やかな回復傾向を受け、個人住民税を5・3%の増額と見込み、町税全体では1千931万円増（対前年度比0・8%増）の23億9千328万円となっております。
地方交付税は、国において0・8%減額されるなか、6

千562万円減（対前年度比3・7%減）の17億1千934万円となっております。
繰入金は、財源不足への対応として財政調整基金と義務教育施設整備基金を合わせて1億4千860万円増（対前年度比43・5%増）の4億8千991万円となりました。
町債については、八千代第一中学校新校舎の完成などに伴い3億2千938万円減（対前年度比36・2%減）の5億8千152万円となりました。

予算

■問い合わせ 企画財政課財政係（内線3220）

その他の交付金 5,682万円 (0.6%)

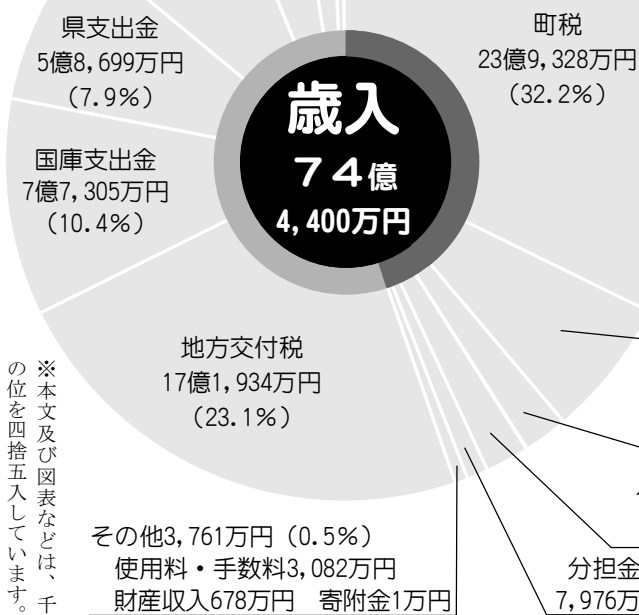
自動車取得税交付金1,742万円 配当割交付金1,658万円
株式等譲渡所得割交付金795万円 地方特例交付金730万円
利子割交付金352万円 交通安全対策特別交付金206万円
ゴルフ場利用税交付金199万円

地方譲与税 1億3,353万円 (1.8%)

地方消費税交付金
2億7,874万円 (3.7%)

町債
5億8,152万円
(7.8%)

自主財源 (44.7%)
依存財源 (55.3%)



※本文及び図表などは、千の位を四捨五入しています。合計などの数値に若干の誤差が生じることがあります。

ポイント①

自主財源と依存財源

市町村の財源は、町税や使用料、手数料などの自主財源と地方交付税や国庫支出金、町債などの依存財源に分けられます。

自主財源が多いほど町の財政運営の自主性、安定性が確保できます。八千代町の自主財源は33億1千401万円です。全体の44.7%となります。

財政用語解説

【予算】：一定期間における収入及び支出を見積った計画をいいます。

【一般会計と特別会計】：一般会計は、地方公共団体の会計の中心をなすもので行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計です。特別会計は、料金などで経営する事業活動を一般会計と分けて、法律や条例で設置して経理する会計です。

【歳入】：その地方公共団体の会計年度（4月から翌年3月まで）の収入見込み額です。

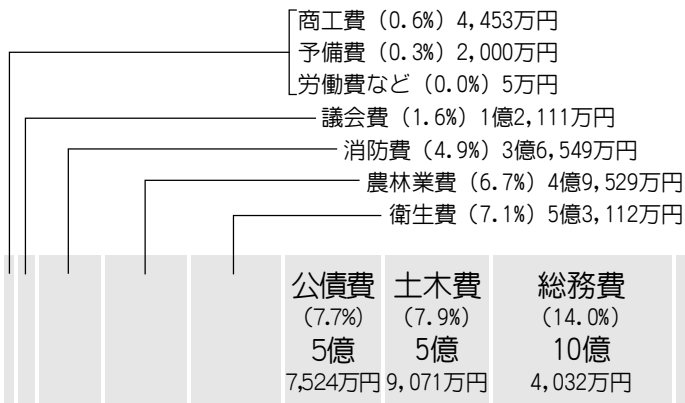
●町税：皆さんに納めていただく町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などです。

●繰入金：積立金（基金）から取り崩して運用するお金です。

●国庫支出金：国庫支出金と県支出金。国庫支出金は、市町村が行う特定の事業に対して国から交付される補助金。県支出金も特定の事業に対して県から交付される補助金です。国庫支出金は、あらかじめ使い道が決められています。

●地方交付税：地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行することができるよう、一定の基準により国が地方に交付する税をいいます。

●町債：町の借入金（借金）で、借り入れる期間が1年を超えるものをいいます。なお、地方公共団体の会計制度では、借金をしても現金が入ってくるという意味で収入として扱われます。



歳出 目的別グラフ

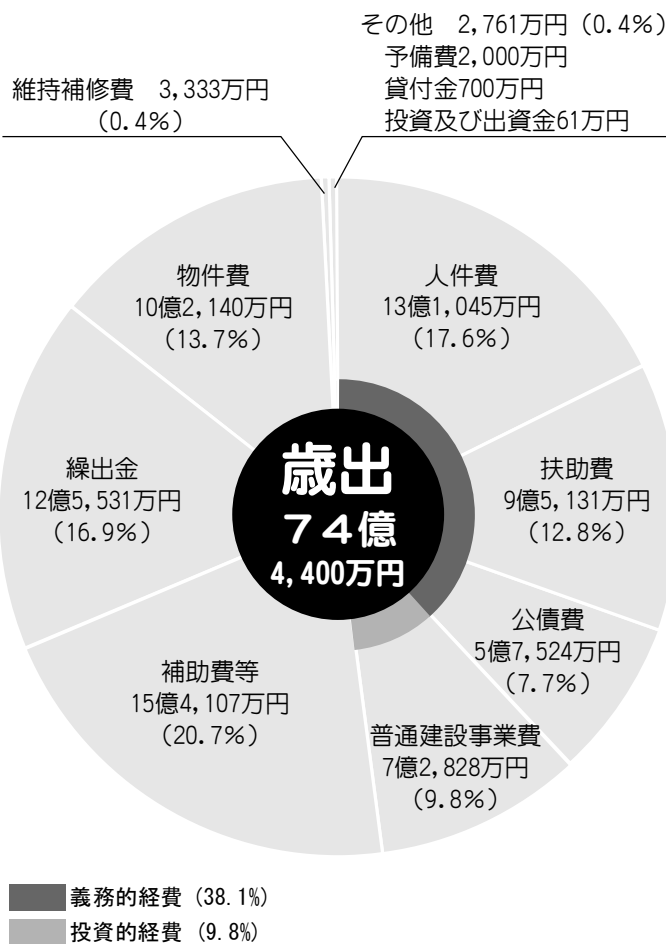
行政の支出を目的別に区分したものが目的別経費といわれています。行政事務配分の割合として見ることもできます。

一般会計 歳出
扶助費、公債費は減少
 投資的経費は53・3%減少
 目的別グラフと性質別グラフで一般会計の歳出を示しました。義務的経費が28億3千700万円で歳出全体の38・1%を占め、前年度より1・1%低下しています。義務的経費にあたる人件費は13億1千45万円で、歳出全体の17・6%を占め前年度より4千510万円増(3・6%増)となっています。扶助費は、保育所運営委託料の削減などにより前年度より3億

4千948万円減(26・9%減)の9億5千131万円、借金を返済するための公債費は、前年度より4千296万円減(6・9%減)の5億7千524万円となりました。一方、投資的経費となる普通建設事業費は、歳出全体の9・8%、7億2千828万円となり前年度と比較して53・3%減となりました。変動の主な要因は、東中学校校舎改築事業やコミュニティ施設整備事業、防災行政無線子局増設事業などが増加しましたが、八千代第一中学校新校

歳出 性質別グラフ

性質別経費…行政の支出を経済的な性質別に区分したものが性質別経費といわれます。人件費・扶助費・公債費などは支出の削減が容易でないため、義務的経費に分類されます。



ポイント②

義務的経費と投資的経費

市町村の経費には、削減が難しい人件費や扶助費、公債費の義務的経費と支出の効果が資本形成に向けられる投資的経費があります。

義務的経費の増加は、財政構造の硬直化を示すものですが、扶助費は人口の高齢化に伴い今後も増加すると思われます。

舎の完成などによる減少が大きいからです。

- 【性質別経費】
- 人件費：職員等の給料や議員の報酬などに使われる経費です。
 - 扶助費：社会福祉、老人福祉、児童福祉、生活保護費に使われる経費です。
 - 公債費：町債（借金）の返済に充てられるお金です。
 - 普通建設事業費：公共施設の新増設や道路などを整備するためのお金です。
 - 物件費：備品の購入や事業の委託費などに使われる経費です。

- 【目的別経費】
- 民生費：主に高齢者、障害者、児童福祉などに使われる経費です。
 - 教育費：学校や体育館など教育施設の整備や運営に使われる経費です。
 - 総務費：選挙や税金の徴収、戸籍、住民基本台帳など行政全般の事務に関する経費です。
 - 土木費：橋や道路、公園などの整備に使われるお金です。
 - 公債費：町債（借金）の返済に充てられる経費です。
 - 衛生費：ごみ処理や母子保健、検診などに使われる経費です。
 - 農林業費：農家の支援や農地の整備などに使われるお金です。
 - 消防費：消防施設の整備費や広域消防への負担金などです。
 - 議会費：議会の運営などに使われる経費です。
 - 商工費：商工業者などの支援に使われる経費です。
 - 労働費：雇用対策など、勤労者の支援に使われる経費です。

国保・農業集落排水が高い伸び

特別会計は、全会計の合計額が77億1千734万円となり、前年度に比較して11億4千889万円（前年度比17.5%）の増加となっています。主な増加の要因は、国民健康保険特別会計の事業見直しによるものと、農業集落排水事業特別会計の中結城東部地区の事業推進によるものです。

国民健康保険事業では、保険財政共同安定化事業を1件30万円以上の医療費からすべての医療費に拡大することによるものです。国民健康保険財政は、高齢化や医療技術の高度化などによる医療費の増加により、依然として厳しい状況にあります。町では医療費支出を抑制するため今年度も特定健診の受診率向上を目標として、生活習慣病の予防や健康の保持増進を図るためのさまざまな施策を推進します。介護保険特別会計も8千676万円（前年度比5.5%）の増加となっています。町では、地域包括支援センターが中心となって、介護予防のための教室を開催し、高齢者の支援をしていきます。

特別会計	予算額	対前年度比較
国民健康保険事業	36億1,057万円	6億2,268万円
後期高齢者医療事業	1億6,602万円	-96万円
介護保険事業	16億5,849万円	8,676万円
中央土地区画整理事業	1億8,326万円	-5,342万円
農業集落排水事業	11億624万円	5億2,904万円
下水道事業	4億1,952万円	639万円
水道事業	収益的	4億6,733万円
	資本的	1億591万円
合計	77億1,734万円	11億4,889万円

ポイント◎

特別会計と企業会計

特別会計とは、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して別個に処理するために設けられる会計です。国民健康保険事業や介護保険事業等、法律によりその設置が義務付けられているものと、条例により設置するものがあります。

企業会計は、民間企業と同じようにその事業収入で支出を賄う独立採算で事業を行う会計で、当町では水道事業が該当します。

平成27年度予算注目事業

今年度予算の中から注目事業をピックアップしてご紹介します。

●医療福祉費支給助成事業…2,515万円

県の行う医療福祉費支給の対象範囲を、町独自に中学3年生まで拡充して実施します。

●出産子育て奨励金…450万円

第3子以上の子を出産された方に、一人につき30万円までの奨励金を支給します。支給時期は、出産後、3歳の誕生日後、小学校入学後に10万円ずつ支給します。

●憩遊館管理運営事業…3,798万円

八千代グリーンビレッジを中心とした観光資源を活用して、町のイメージアップと観光の振興を図ります。

●道路整備事業…1億3,886万円

今年度も引き続き二級町道3号線及び筑西幹線道路、町道3814号線の整備を推進します。一般町道についても維持補修、排水整備に努めます。

●防災行政無線屋外子局増設事業…715万円

防災行政無線の難聴対策として、子局の増設とアンプ増強などを実施します。

●八千代第一中学校校舎改築事業…1億4,000万円

新校舎の完成に伴い、旧校舎跡地に駐輪場と駐車場を整備するとともにグラウンド整備等の外構工事を実施します。

●東中学校校舎改築事業…3億7,150万円

27年度から29年度の3年間で東中学校の新校舎建設及び旧校舎の解体及び撤去、外構等の工事を実施します。



東中学校の完成予想図